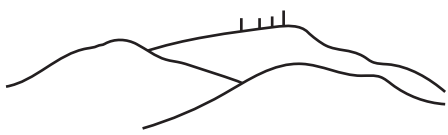


Youth Manna

2020/1/27 - 2/2



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/1/27(月)

レビ記 9 章

今日の箇所は、大祭司アロンによる最初の礼拝です！

アロンはまず自分自身のためにささげ物を献げ、そして次に民のためにささげ物が献げました。アロンは神様が命じた通り、一つ一つ忠実に行いました。22-24 節は礼拝の頂点です。神様が命じられた通りに礼拝をし終えたとき、神様は火をもって応えられました。「これで良い！」という神様からの答えだね！自分たちの礼拝に主が応えてくださったのを見て、民も喜び叫びました。神様の臨在こそが礼拝のゴールです！

私たちは神様が命じられた通りに神様を愛し、礼拝しているだろうか。神様の臨在を求め、神様と共に歩むことに忠実であろう！

2020/1/28(火)

レビ記 10 章

アロンの息子ナダブとアビフは「主が彼らに命じたものではない異なる」礼拝を行った。彼らは、あえて主に逆らのではなかったのかもしれないが、主が命じたものではなかった。それゆえ神は火を持って彼らを焼き尽くした。私たちの神は聖い神であり、裁きによってもご自身の聖さと正しさを現される。主はアロンに聖と俗を区別するように語られた (9-11)。私たちも、この世において神にふさわしいものとそうでないものを注意深く区別する必要があるね。

この箇所から、神様はどのようなお方なのか、そして神様に対するふさわしい態度とはどのようなものかを考えみよう！

2020/1/29(水)

レビ記 11:1-28

みなさんが食べてはならないものがありますか。現代では、体に悪いものは当たり前前に食べません。毒キノコや腐ったものは誰もが食べたくないはずです。また、アレルギーは人によって異なるため、人によっては気をつけなければならないことがありますね。

主がモーセとアロンに告げて言われた、食べ物の禁止は、イスラエルにとってどんな意味があったのでしょうか。私たちには、食べ物を選ぶ自由が与えられています。しかし、その自由も主が与えてくださったものです。与えてくださった恵みのなかに生きていることを忘れず、与えてくださった主の心を覚えて食事をする、そんな一日にしましょう。

2020/1/30(木)

レビ記 11:29-47

食べて良いものと、汚れたものを区別する意味は、主が聖であるので、イスラエルの民も聖なるものとならなければならないということであった。

主が聖であるから、あなたがたも聖なる者とならなければならないという重要な命令は、新約聖書にも引き継がれている。(第一ペテロ 1:15-16)

イスラエルの民が食物の規定によって他の異教の民族から区別されたように、現代の信仰者が聖なる者として歩むにはどのようにしたらいいだろうか。聖書にあって選び、きよい者として歩もう！祈ろう！！

2020/1/31(金)

レビ記 12 章

出産した女性の汚れについて書かれています。これは女性が出産で罪を犯したと言っている訳ではありません。「産みの苦しみ」は人の罪からはじまった事で(創世記 3 章 16 節)、最初に神様が創造していなかったものです。

私達は 1 人残らず罪の性質を持っている存在ですね。罪には苦しみが必ずセットでやってきます！それだけだと悲しい現実です。しかし、イエスキリストによって私達は許されて、きよい者とされます。自分が罪人である事を実感しているかな？今自分の中にある罪がなんなのかを考え、悔い改めて祈ろう。

2020/2/1(土)

ピリピ 1:1-11

今日からピリピ、徐々にじっくり読む人も多いね！はじめのところでは、パウロが感謝と願いを記している。ピリピの教会の人たちがパウロの福音の宣教を支え、仕えていること、神様がしてくださったことの感謝を挙げているね。それぞれの場所であっても、主の働きは一つにつながっているんだ。私たちも各地で働かれている宣教師の方のために祈ろう！

そして、ピリピの教会の人たちの愛が豊かにされ、大切なことが見分けられるように、そして神様の栄光があらわされるように願っている。

神様の愛に生きる時、私たちは大切なことを大切にできるようになる。自分自身のため、ユースの仲間、教会のために祈ろう！

2020/2/2(日)

ピリピ 1:12-30

今日はパウロが「私にとって生きることはキリスト、死ぬことは益です。」と語った箇所だね。

パウロは宣教のために死ぬことも覚悟していて、ピリピの教会の信徒たちと共に福音を宣べ伝えることが主のみこころだと確信していました。その宣教の最終目標として語ったことは「キリストの福音にふさわしく生活しなさい。」ということでした。

パウロがあらゆる仕方でキリストが述べ伝えられていることを喜んだように、私たちも宣教のために祈ろう！そして自分にとって「福音にふさわしく生活する」とはどういうことか考えてみよう！